

1 題材名 ちからをあわせて

2 題材設定の理由

近年、うまく学校生活に適応できない1年生が増えているといわれ、「小1プロブレム」が問題となっている。集団生活への不安、保護者との分離不安、学習への不安など要因は様々であると考えられるが、大きな不安が登校渋りや学級での問題行動へとつながっていく。特に、他の人との関わりが苦手だったり、特別な教育支援が必要だったりする子供たちは誰よりも強く不安と緊張を感じていることだろう。

子供たちは皆、「安心して学級の中にいたい。」と願っている。その願いを叶えるためには、基盤である学級の友達が自分を認めてくれたり、困ったときには力を貸してくれたりする経験の積み重ねが必要であると考えた。また、1年生は学校生活の中で、社会的なスキルを身に付けていく大切なスタート時期である。1年生での経験が土台となってこれからの学校生活を送っていくことを考えれば、自分以外の他者のことを理解しようとする気持ちやみんなが気持ちよく生活するために大切なことをこの時期に学ぶことはとても大切なことである。

そこで、本題材では構成的グループエンカウンターを活用し、個々が自分の役割をもつとともに、一つのことにグループの友達と協力して取り組む体験をさせたいと考える。このエクササイズを通して友達と協力する喜びだけでなく、話を最後まで聞く、ルールを守る、困ったときには「力を貸して。」と自分で伝えることの大切さを実感させたい。

3 児童の実態

本学級は男子9名、女子16名と女子の人数が多い学級である。4月の入学式では呼名を含め、担任の指示を理解し、式に臨むことができた。また、入学式後の学校生活も6年生や担任に手伝ってもらいながら道具の整理整頓や給食当番・掃除など一ヶ月ほどで自分の身の回りのことは自分たちでほぼ行えるようになった。

明るく朗らかで、何事にも一生懸命取り組もうとする児童が多い学級である。4月下旬に本校で行われたダンスカーニバルや5月の運動会など、初めての学校行事にも意欲的に取り組むことができた。ゴールデンウィーク明けの運動会練習が始まる頃に登校を渋ったり、「お母さんに会いたい。」と教室で泣いたりする子が数名いたが、長期に欠席することもなく、現在は落ち着いて学校生活を送っている。

学級の雰囲気としては落ち着いているが、学習面、生活面、身体的な面で配慮や支援が必要な児童がいる。特に、夏休み前までにひらがなの読み・書きに困難を示している児童が5名おり、教科書や音読集が読めない、ワークテストやドリルの問題がわからないといった姿が見受けられる。家庭の協力もあって読み書きの改善はみられるものの、十分とは言えない状況に変わりはない。

入学当初の4月は同じ幼稚園や保育所の友達と遊ぶことが多かったが、席替えや校外学習のグループ、放課後子供ルーム等で友達関係も広がってきている。その一方で、グループを組む時にうまく誘うことができず、友達に声をかけてもらうまで一人でいる子や担任の傍にきて助けてほしい態

度を示す子が固定化しつつある。特に、男子は人数も少ないため、女子が先にグループを作ってしまうと遠慮してしまう様子も見られる。入学してから折に触れ、「猛獣狩り」や「ナンバーコーリング」などの友達作りのエクササイズを意図的・計画的に行い、誰とでもグループを組んで活動する経験を重ねているところである。

4 研究主題との関連

一人一人が豊かな心で主体的・意欲的に学校生活を送るための教育相談的かかわり
～一人一人を理解し、支援するためのよりよい手立てを求めて～

(1) 学校生活の緊張を取り除き、楽しくなるような活動を学習・生活の中で取り入れる。

発達段階から考えても1年生には45分間を集中して過ごすことは大変なことである。そこで、活動と活動の間の時間や学習の中でミニゲーム的なものを取り入れて身体を動かしたり、友達と関わって活動する時間を意図的に組み入れたりすることで、心と体を開放し、次の活動への意欲へとつなげていきたいと考えた。

構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングのエクササイズを計画的に取り入れ、自分のことや身近な友達のことを理解し、よさを認め合える体験を積み重ねたいと考えた。

	各教科・道徳	その他 (すき間の時間・休み時間等)	ねらい
4月	音楽 ・おはようあくしゅ ・ひらいたひらいた ・じゃんけんぼん } 歌で友達と仲良く 生活科 ◎あくしゅ大作戦(自己紹介) ◎名刺交換(自己紹介) ・学校探検(教室の入り方)	ミニゲーム ・じゃんけん列車 ・ロボットさん ・森のきつつきさん ・キャッチ ・いろいろじゃんけん 等 ※ミニゲームは4月以降も適宜行う。	・心の緊張をほぐす ・友達づくり ・自己理解・他者理解
	国語 ・あいさつ 道徳 ・「たびにでて」 (読み物・挨拶) } 挨拶の仕方		・学校生活に必要なルール・きまりを見につける。 ・あいさつの仕方 ・「はい、どうぞ」 (ものの渡し方) ◎「いれて(貸して)」「いいよ」 (遊びの入り方)
	体育 ・体じゃんけん ・びよびよちゃん ・猛獣狩り ・まねっこミラー		心とからだを開放してリズムダンスを楽しむ。(行事)【ダンスカーニバル】
5月	算数 ・数の大きさをくらべ(友達とカードで比べる)		・友達とかかわりながら学習する
	道徳 ・「あなたのことを教えてね」 『わたしたちの道徳』に書き込み、紹介し合う。	◎「きょうのきらりさん」 (よい行いをしていた友達を紹介する) ※年間を通じて行う 【帰りの会】	・自己理解 ・他者理解
6月	算数「ラッキー○」 ・10までの数の合成を友達と一緒に指で行う。	・キャッチ!(指遊び) ・なんでもバスケット (○○な人) 【休み時間】	・友達とかかわりながら学習する

	<p>生活科「学校探検（1年生のみ）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の教室の入り方 ・質問の仕方 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達とかかわりながら学習する ・相手に答えてもらうための質問の仕方を身に付ける。
	<p>体育 フープ並べ</p> <p>◎何色かのフラフープをグループで並べる。「赤とばし」「緑とばし」などの条件に合わせてフープの並べ方をみんなで考える。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・友達との協力 ・他者理解
7月	<p>算数「たしざん（ひきざん）カード勝負」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たし算（ひき算）カードを無作為に出し合い、答えの大きかった方（小さかった方）が勝ち。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達とかかわりながら学習する
	<p>学活 「〇〇順に並ぶ」</p> <p>◎言葉を介さず、コミュニケーションをとりながら並ぶ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・友達づくり ・信頼関係
9月	<p>学活 「夏休みの思い出を教えてね」</p> <p>◎ペアになり、キーワードの書かれたカード3枚の中から1枚を引いてもらって夏休みの思い出を互いに伝え合う。</p>	<p>話し方・聞き方「あいうえお」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己開示 ・他者の話を最後まで聞く
		<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ拍手 ◎自分ほめほめじゃんけん ◎友達ほめほめじゃんけん ・トランプで仲良しゲーム（ジェスチャー・言葉づくり） ・スリーヒントクイズ <p>【席替え時】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心の緊張（休み明け）をほぐす ・自己理解 ・他者理解 ・友達との関係づくり ・話の仕方・聞き方
	<p>体育 的当てゲーム （ペア・グループでの活動）</p> <p>算数 20までの数のすごろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とじゃんけんをし、双六を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達とかかわりながら学習する ・友達のよいところを認める
		<ul style="list-style-type: none"> ・鬼遊び （傷鬼・バナナ鬼・レンジ鬼） <p>友達に助けをもらおうと再び参加できる鬼遊び。</p> <p>【休み時間】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との信頼関係を築く
10月	<p>体育 ボール蹴りゲーム （グループ・ペアでの活動）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・友達とかかわりながら学習する ・友達のよいところを認める
	<p>学活 「ちからをあわせて」【本時】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して活動する ・友達の話最後まで聞く

(◎特に重点的に行ってきた内容)

(2) グループ編成の工夫

後期始まってすぐの席替えをグループ編成に利用する。本時の活動ではヒントカードを読んで友達に情報を伝えたり、色を塗ったりする活動があり、細かい作業が苦手な子やひらがなを読むことが苦手な支援が必要な子がいることから、普段の交友関係やアンケート調査等を活用し、支援の必要な子達が安心して活動できる友達を同じグループに編成する。後期が始まってすぐの席替えでもあり、本

時で互いに助け合うことができれば後期の学校生活のよりよいスタートのきっかけにもなるだろう。
(別紙資料参照)

(3) ユニバーサルデザインの視点で

6月半ばにひらがなの学習を終えたが、児童の実態でも触れた様に、読み書きに困難を示している子が数名いる。また、話を聞いていても指示が理解できなかつたり、忘れてしまつたりすることも見られる。そこで、本時の流れが視覚的にわかるように順を追って黒板に掲示したり、使う道具を色分けして誰でも理解できるようにしたりするなど、どの子も楽しく活動に参加できるように配慮する。

また、自分のカードがどうしても読めない、色塗りが上手くできないなど本時の活動に困難を感じる場面も想定されるため、友達に助けてほしい時の「おたすけカード」を用意する。自分が困ったときに困っていることを伝えることや、支援を求めることも対人関係のスキルとして大切であることから、カードを見せるだけで協力を得るのではなく、「〇〇さん、手伝ってください。」と、カードに書いてある言葉を声に出して言うことで協力してもらえるようにする。

5 本時の活動

(1) 本時のねらい

- ・互いに協力して活動する心地よさを感じ、友達と関わろうとする気持ちを育てる。
- ・自分の言いたいことを声に出して言うだけでなく、友達の話も最後まで聞くことが大切なことに気付く。

(2) 展開

過程	学習活動と内容	ねらいにせまる手立て	子どもの姿 (◆評価)
導入	<p>1 ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャッチ！」 ・「E Tゲーム」をする。 <p>2 「ちからを あわせて」のねらいや、やり方をを知る。</p>	<p>○友達と関わる簡単なゲームをすることで気持ちをほぐす。</p> <p>○4人で協力する活動であることをしっかり伝える。</p>	<p>○みんなで仲良く活動しようとしている。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>ともだちと ちからをあわせて むりえを たのしもう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>後期が始まって1週間くらいたちましたね。席替えをして、隣の席や同じ班の友達と仲良くできていますか。今日は、近くの席になった友達ともっと仲良くなるために、「ちからを あわせて」というゲームをします。班のみんなが力を合わせるとすてきな絵になります。今から先生が話すルールをよく聞いて、やってみましょう。</p> <p>グループに1枚、色を塗っていない絵を配ります。その絵にどんな色をぬるのかは、ヒントカードに書いてあります。ヒントカードに書いてあるヒントを手がかりに色を塗って、絵を完成させてください。でも、このカードと色鉛筆には約束があります。</p> <p>①ヒントカードは全部で12枚です。</p> <p>②ヒントカードは自分だけしか見ることができません。</p> <p>③ヒントカードに書いてあることは、言葉で友達に伝えます。</p> <p>④配られた色鉛筆は、最初から最後まで自分しか使えません。友達に貸したり、交換したりはしません。</p> <p>やりかたはわかりましたか。絵が完成したら、リーダーさんが静かに手を挙げて先生に教えてくださいね。</p> </div>		
<p>3 デモンストレーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の前方で教師と代表3名の児童で活動に使うものとは違う絵を使い、一連の流れを行う。 	<p>○後で手順を見直すことができるように黒板に掲示物を貼る。</p> <p>○実物より大きな道具を使う。</p>		

展開	<p>・困ってしまった場合についての解決の仕方にも触れる。</p>	<p>○教師が、読めなくて困る場面を演じる。</p>	
	<p>でも、ヒントカードを読む時や色をぬる時に困ってしまうこともあるかもしれません。その時には「おたすけカード」を使いましょう。「おたすけカード」は、力をかして欲しい子に「〇〇さん、力をかして。」と言って、渡します。渡された子は「いいよ。」と言って、力をかしてあげてください。</p> <p>このゲームで大切なことは3つです。1つ目は、友達の話最後までよく聞くこと。2つ目は、自分が困ったら「力をかして。」と言うこと。3つ目は友達から「力をかして。」と言われたら「いいよ。」と言って手助けすることです。</p> <p>それでは、「ちからを あわせて」のゲームを始めましょう。</p>		
	<p>4 グループで「ちからを あわせて」をする。</p> <p>【手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーがヒントカードを配る。 ・それぞれ配られたヒントカードを確認する。 ・ヒントカードを読む。 ・ヒントカードに書いてあった色の鉛筆を持っていた子が色塗りをする。 <p>※ヒントカードを読む順番はリーダーから時計回りとする。</p> <p>※もう一度聞きたいヒントは繰り返し聞いてもよいことにする。</p> <p>※「色を塗り終わってから次のヒントカードを読む⇒ヒントカードを読んでから色を塗る」をしっかりと行うように声かけをする。</p> <p>※終わったら、リーダーが手を挙げ、教師に知らせる。</p>	<p>○「△分までに完成させましょう。」と、見直しをもたせる。</p> <p>○各グループを回り、やり方に困っているグループに言葉かけをする。</p> <p>○特に、支援を要する児童の順番については把握し、できるだけ傍で見守る。</p> <p>○話を最後まで聞こうとしている子や頷いたり、相槌をうったりして聞いている児童を称賛する。</p> <p>○早く終わったグループからワークシートに振り返りを記入させる。</p>	<p>○友達の話をよく聞き、協力して絵を完成させようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇色は～さんがもっているね。 ・〇〇さんが聞き取れなかったみたい。もう一度ヒントカードを読んでもほしいな。 ・もし、恥ずかしかったらおたすけカードを使うといいよ。 <p>○自分のカードの情報を友達にわかるように伝えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女の子の洋服の色だよ。 ・色はぬりません、って言ったよ。 ・〇〇さん、よく聞いてね。 <p>○困ったときに、「力を貸して。」と友達</p>

ま と め	に伝えている。	
	どのグループも友達と力を合わせて色塗りができたようですね。一緒にゲームをしている時のことをみんなで振り返ってみましょう。先に振り返りを始めていた人は自分の振り返りを確認していきましょう。	
	5 「ちからを あわせて」をして感じたことをワークシートに書く。	○ワークシートに書かせる。 ○1年生なので、チェックで簡単に振り返ることができるようにする。 ○書くことに支援が必要な子には教師がつき、口頭で言った言葉をメモする。
6 シェアリングをする。 ・各グループで感想を発表しあう。	○同じグループの友達と協力できたことを思い出させ、温かい気持ちを味わわせる。	◆今日の活動を振り返り、ワークシートに書くことができたか。 ◆友達の頑張っていた姿やよいところに気づき、認めることができたか。
7. クラス全体の場で感想を発表する。	○他のグループの友達の話を聞くことで、思いを共有させる。 ○友達のよさを発表した児童や頑張りを素直に認めている児童を称賛する。 ○これからも友達の話をよく聞いたり、協力したりして学校生活を送ろうとする気持ちをもたせる。	◆他のグループの様子に関心をもち、話を聞くことができたか。

(3) 評価

- ・自分の情報を正しく伝えることができたか。
- ・友達の話最後まで聞くことができたか。
- ・友達と協力して活動することができたか。
- ・自分や友達のよいところやがんばったところに気付くことができたか。